

年明けあれこれ

⑤ 飯田清久

正月に御前崎灯台を訪れた際、洪岡原子力館の建物と歓迎看板の異様さが目につきました。テレビでは、安全対策を強調するCMが盛んに流れています。今年、7回目を迎える「自然と文明」という本質が問われたはずが、いつの間にか「癒し」「絆」という美名が人々を覆いつくしました。原発廃炉の危険性や困難さなども隔てて追いやり、あらゆる「神話」が作り出されようとされています。核と人類の共存はあり得ません。何としても止めなければなりません。

止めなければなりません。沖繩での米軍ヘリの事故を取り上げた国会で、不当なヤジがありました。「誤解・迷惑」で役職を辞任しようとするが、誤解のしようのない不当な発言、誰にとって迷惑なのか、「沖繩の気持ち」を添う「など」と平気で嘘をつく政権への義理立てに思えてなりません。それにしても、国会、地方議会を問わず議員の劣化現象が止まりません。ちゃんとした議員を選ぶことがますます重要で、わが高退協のハンゲンさん、きよちゃんたちが希望を見出します。そして四十万の川ぶっちゃん、今度こそ！大いに期待です。

核兵器禁止条約の国連採択に背を向け、核抑止論で渡り合っているアメリカ、日本そして北朝鮮の政治指導者。戦争に走り出せば、自衛権とは戦争を正当化する必ず破綻する理屈である。若き日国際法の講義で学んだことを思い出して、さることを今年改憲ストップの正念場です。そうそう学生時代よく読んだ「憲法講義」(小林直樹著)「があつたの思い出して」4年ぶりに開いて学び直しています。共同の力で総力戦の闘いが必要ですね。

平昌そして東京と、オリンピックが過熱気味です。選手個々の日ごろの頑張り、心から拍手ですが、それを取り囲む勢力のあからさまな政治利用や東京一極集中の経済投資など見まわす。気持ちは半分減っています。平和五輪は、一度の日本開催のオアシス、仙島周辺の「元氣・復興五輪」がよかったです。テレビを観る私には、折耳にする「青年一人ひと

り」の姿そのものを応援したいと思っています。

沖繩米軍基地や原発などの話題を、あえて取り上げる漫才をみました。思えば時事問題を取り上げる芸人さんもほとんど見かけなくなりました。頃、いうなれば「沖繩・安保」「福島・原発」は、日本のこれからの問う本質的な問題です。この漫才師は、「原発賛成・反対?」「憲法ってどう思う」など、私はこう思うという考えや疑問が、日常の中であまりに話されていよう現状に問題意識を持ったようです。そしてTV局から敬遠されてもあえてネタにする、最後のオチは「自分の問題だぞ!」

排他主義、不寛容に委縮しがちな時代、演芸の世界でタブーをつくらない、庶民の感覚でオープンに語り笑う。これも自由度や寛容性のメーターを高めることにはなるのではと思ひ、ひそかに応援しています。今まで拙稿にお付き合いいただき、ありがとうございます。

1月4日、絶好の風揚げ天気です。場所、高知市鏡川北側、トリム公園。集合した人々は、それぞれ手作り感満載の自由民権記念館を作られたものです。会場となる公園には、自由民権の山間空間には、「第二十一回民権風まつり」と書かれた連風が高く舞い上がっています。今年、

1月4日、風揚げ風景



天まであがれ

民権風作り

別役 美佐

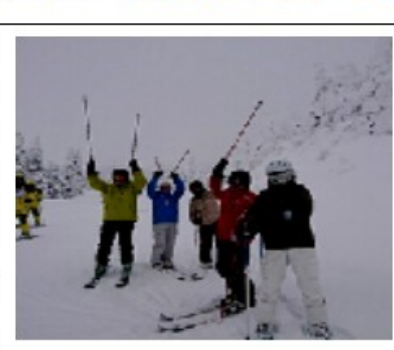


今年度の企画は、山形県蔵王スキー場でした。衆形の如くここは天下に有名な巨大樹氷のあるところで、その出来ばえが興味あるところで期待に違わぬ群落を見ることが出

高退協スキーツアーに参加して

唐岩 明男

画の中で作られ、年明けに「土佐風を揚げよう」という催しは、高知市教育委員会で共催は、高知市教育委員会で



来ましたが、一同の日頃の心がけが、天にも届くような軽やかな雪質で、スキー板への積り具合は、心浮きたたせ、キロ以上王城のよさを堪能出来ましたが、雪を見るときは、漫談の世界に遊ぶようこの原簿りーダーの心きいたご



2018年新春懇親会(2018.1.9 三翠園)

原稿募集

分野は問いません。個人のこと、社会のこと、集会等の報告、詩・俳句・川柳・随筆等の文芸、何でもかまいません。積極的な投稿をお願いします。郵送は表紙題字の下へ、メールは下記のとおりかへ送信してください。

gomachan@ma3.seikyoku.ne.jp (高教組付)
norinori415@me.pikara.ne.jp (担当 大川)